

★かわいい女



パントマイムジュンズⅡ
愛すべき隣人たち
岡田 淳



『ルードウィヒ』に見る ヴィスコンティの耽美

淀川 長治 〈映画評論家〉

私はこの映画に『これはルキノ・ヴィスコンティの全作品に貫かれた(苦惱)(歓喜)(悦楽)(耽美)(敗北)(恥辱)(純愛)そのすべてをここに美の陶酔ともいえる華麗なる時代色をもって描ききった(ヴィスコンティ芸術)その秘密の鍵を知る彼の告白』と見た。一九四二年の「妄執」から「揺れる大地」「ベリッシマ」「夏の嵐」「白夜」「若者のすべて」「山猫」「異邦人」「地獄に堕ちた勇者ども」「ベニスに死す」「ルードウィヒ」「家族の肖像」「イノセント」に至るまでの彼の作品に一貫してえぐりだされているのは実に(恥辱)であった。「夏の嵐」(一九五四)の伯爵夫人が年若き中尉への恋に狂い兵舎に彼を求め身も世もなき姿を兵隊たちの目前にさらしたとき、その哀れはあたかも焰のまわりを飛び狂う蛾の羽根のこげ焼ける悲しさにも見てとれた。「白夜」のマリオの失恋孤独。「山猫」のドン・サリーナ公爵の新しい時代への敗北孤独。彼が求めてやまぬそれらの孤独の苦しみと敗北は、しかし「ベニスに死す」と「家族の肖像」の二作をもってその秘密はまさぐられたのであった。すべてにホモセクシアルがかくされて、「白夜」「夏の嵐」の男女の狂愛の果ての残酷なる孤独にしてもその裏には果すべくして果しえぬホモセクシアルの苦悩が形を変えて描かれているにすぎぬとさえ見られるのであった。

ところでこの秋に登場する一九七二年作、三時間四分の大作「ルードウィヒ―神々の黄昏(カール・マルクス)」はいふならばその

(恥辱の美学)。ヴィスコンティは、ここに初めてあからさまにそれを描ききったのであった。しかもこの耽美。

ドイツが五つの王国(プロイセン、バイエルン、サクセン、ヴュルテンベルク、ハノオファー)に区分されていたとき、最も強大なのがプロイセン、これに次ぐのがバイエルン。ルードウィヒ二世はこのバイエルンの三代目の君主。十九才で王位につき四十才で自殺して果てた。

ルードウィヒ一世は王都ミュンヘンに芸術文化都市を築いたが妖姫ローラ・モンテス事件をも起こした。王宮のスキヤンダルである。第二代の王はマクシミリアン二世と呼ばれている。やはり文人、学者を育てたが、もって生まれた病身で妃のマリイはプロイセンの名門から嫁いだ美人であった。そして、この夫妻の長男として生まれたのがルードウィヒ二世。思えば祖父はローラ・モンテスの美に溺れ、父は病身で、母がプロイセンの名門の出ゆえに王宮内のすべての権力を握っていたかに思え、その両親の長男ルードウィヒがいかにか育ったかがえるのである。しかしこのルードウィヒも一人の女性を熱愛した。彼女はいとこのエリザベートだった。しかし彼女はすでにフランツ・ヨーゼフ帝の妃である。そしてルードウィヒより年上だった。ルードウィヒの彼女への愛は男女関係の愛ではなく、姉にしたがう弟の愛とも思える仲であった。このルードウィヒにしたがわれたエリザベートは非常に勝ち気で自由ほんばうに暮らしたがルードウィヒには自分の妹のソフィーをあてがってルードウィヒ

に婚約さえも承知させたが、ルードウィヒはその結婚をのばし十六才のとき観劇した「ローエングリン」のオペラ作曲家演出家指揮者のリヒャルト・ワグナーに夢中となった。

そして自らすすんで彼のパトロンとなりワグナーをミュンヘンに定住させ彼のため劇場を作り巨財を彼につぎこんだ。ワグナーはルードウィヒより三十三才も年上である。彼にとってルードウィヒはまるで子供にひとしい。ワグナーはほしきままにルードウィヒから巨財を出させ自分がかつて女優であった妻があるにもかかわらず王立オペラの指揮者ハンズ・フォン・ビューローの妻コジマ（リストの娘）と恋愛関係に落ちコジマは女兒を出産した。ルードウィヒの与えた華麗なる邸宅でこのワグナーとコジマとの間の子供の出産はオペラ楽団の祝福の演奏をもってめでたく祝われたのであった。

そのころ（一八六六）プロイセンとオーストリアの戦争が激化しバイエルン王国はオーストリアの盟友として参戦したのだがルードウィヒはあくまでも戦争を嫌い反対し弟のオットーを戦場につかわし、疲れきった弟はこのため発狂してしまった。

このあたりからルードウィヒの悲惨なる狂態が本人自身を地獄へと落してゆく。舞台の男優を王宮内に招き彼に宝石を手当たり次第に与え、彼の逃げ去ったあとは城内にこもり



ワグナーとコジマ



エリザベートとルードウィヒ



城内に設けられた湖水で白鳥と遊ぶルードウィヒ

夜半に湖水で全裸で泳ぐ従者を林のあいだから盗み見るや彼をわが寢室に引き入れた。さらに馬丁たちが集まって酒を飲み歌に興じているその馬丁小屋にしのびの姿で訪れ気に入った馬丁を連れ出すのであった。この発狂に近いルードウィヒが精神医のグッデンと湖水で死体となって発見されたのはそれからまもない一八八六年の六月十三日であった。

ルードウィヒ（ヘルムード・バーガー）、エリザベート（ロミイ・シュナイダー）、ワグナー（トレヴァー・ハワード）、コジマ（シルヴァーナ・マンガンノ）、オットー（ジョン・モルダー・ブラウン）。

この大作のセット美術の美しさ、王宮生活の華麗、アルマンド・ナンヌツイの目を見る美術。

ところで、ヴィスコンティはこの「ルードウィヒ」をもって何を語らんとしたか。映画美術、宮庭の華麗……いやそれらよりもさらに奥深く若き日のルードウィヒの求めたフアーザー・コムプレックス、そして当時は許されぬホモセクシアルへの苦悩と耽溺。

これはヴィスコンティ自身一族が中世紀よりのイタリア最大の貴族名門。その育ちからの彼の孤独。

ヴィスコンティは『ルードウィヒ』にそれを告白したのであるうか。

なめくじ女

◇98◇

なめくじ女

細川

董 ただす
／＼文とえ／哲学者

男はなめくじ女を、別にいやがりはないものだ。実際の動物の方のなめくじは嫌われるのだが……。

最近は殺虫剤が普及して、いわゆるなめくじが少なくなったのか、台所でもめったに見かけない。

たまに見かけると、まだこんな生物が此世に捷息していたのかと稀少価値からゾツとしてあわてて塩をぶっかけるということになるのだが……。

私のいうなめくじ女も、どうも、最近関西では、ほんとは見かけなくなったように思う。

先日は、偶然そう思っている私の所へなめくじ女のためごが尋ねて来た。私が毎日曜夜、やっているラジオ番組のファンだというのである。

「今晚わ／＼細川ただすです／＼……」

という語りから始まる「夜の美術散歩」という番組なのだが、その出だしの声の主の顔を一度見たいというのでやって来たのだ。偶然、私の中三になる娘の友人だというので娘に案内されて来た訳である。下唇の分厚い彼女を見て、私はドキツとした。

「まさしく、なめくじ女だ／＼」

私は、即座にそう思い、昔出会った何人かのなめくじ女を思い出していたのである。上半身から下半身へと目で中三の彼女を追って行けばまぎれもない彼女はなめくじ女の素質を全身に備えているのであった。

姿勢はきわめて悪い。ぶらりと下った腕。態度もフテフテしいのだ。背も丸い。何かすれているようだ。顔もふくれてほんとにふくれているようだ。

下唇の分厚さが、よいそんな雰囲気をかもし出しているのかもしれない。しかし、しなやかにのびた下半身はセクシーでさへある。

昔、出会ったなめくじ女が、そうだった。

何かドキツとするずうずうしさというか脅威というか恐怖というか、顔をふくめて、そういう上半身とうらはらにセクシーな下半身が、青春と呼べるような年頃だった私の若い心をさかなでしたのである。

想い出の一夜は私の青春にとって衝撃的な恐怖と興奮の一夜だった。血色のよくないなめくじ色のナメナメした肌色のなめくじ女は、大学時代に友人と旅行したときその旅先の旅館での一夜、一同三人が襲来を受けたのである。

その時は、どうしても理解出来ず、女の魔訶不思議と思いついたものだったが、今にして思えば、妻をなくした旅館の主人の後添えになったばかりの中年のなめくじ女がたまたまとまった紅顔の美少年達（同じ哲学科の三人）にあまりの可愛さにいたずら半分ちよっかいを出してしまったと大よその理解はつくのである。

彼女は、初婚だといっていたがその辺はよくわからない。とにかく、欲求不満だったことは確かだ。旅帳を持って来た時から

「主人は、お酒のんでゴロ寝ばっかで年寄り困ったものよ」

といかにも分厚い唇をもてあましている風にひわいな笑みを浮べてしゃべったものだ。

女食私
と女



私達三人はその夜このなめくじ女のえじきになったという次第なのだ。

それが三人三様だった。

キスの襲撃をうけた者。

フェラチオされた者。

そして私のようにセックスされた者。

私は夢か現実か目がさめたとき、さだかでなかったの
で手で自分のあそこをわざわざさわって確かめて見たほ
どだ。すると、まぎれもなくビシヤッ！とぬれていた。

しかし、夢精だったという証拠もない。

三人に共通点は何とも気持のいいピチャツと冷たい彼
女の肌の感触を恵まれたことだった。

おまけに廊下に、翌朝なめくじが何匹かはっていたの
だから不気味な不思議な体験だった訳だ。

それだけではない。

夏休みが終って学校が始まり、秋が深まって天気とい
い春のようにやわらかい日ざしの午後、図書館のかべに
もたれて本を読んでいたら、若い未亡人の図書館員が近
づいて来た。よく見れば、何と、彼女も下唇の分厚い
“なめくじ女”ではないか！ 私がゲーテの“若きウェ
ルテルの悩み”を読んでいたのを彼女はのぞき込んで
「私、ゲーテと同じ誕生日なの」とそばからつぶやいて見せた。

「そう？」

と、あまり気のない返事をしたら

「今日の日曜日、私の下宿へ遊びに来たら？」

と彼女はさそった。私はいにくいことをいう率直さに
ひかれて男になった気持で

「行くよ」

と答えていた。

私は今でも“なめくじ女”は男殺しだと思っている。
あなたはいかが思われますか？

味覚の秋のランチタイム



そば処・手打ちうどん

木曾路

市役所前KEビルBF ☎231-1295
11AM~8:30PM 日曜祭日休

オフィス街の静かなオアシス



喫茶
M

モンブラン

市役所前KEビル1F ☎231-3605
8:00AM~8:00PM 日曜祭日休

設計監修 末元建築事務所 和田利雄

珈琲と私

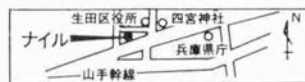
5



楽まい育そつなにくに御分の一
した愛てれくあしあか客のに杯自
い実情るはりわびり様責の家
もにが様あ全せしま立に任自焙
のデ必な自げてはすち出で分煎
でり要も分て私作あすのヒの
すケとののいの客ナえま最好良
さで子ま好このイで初みをさ
トレ供すみと好ルこかと作は
で深をではみのとみら自る



珈琲は
子育てで
す
伴子
五朗
茶屋
イル
店主



茶房 ナイル

神戸市生田区下山手通6-1-18
Phone (078) 341-7376

8:00AM~9:00PM 日曜祝日は正午まで

設計・環境設計事務所 伊藤 司
施工・まこと工務 菅 忠夫

神戸百店会 だより



★元町ジェム1階に
リザ・サロンオープン

白い瀟洒な構えのビルの
メインショップにふさわし
く、リザ元町ジェム店の店
内は、明るくハイセンスで
コンテンポラリーな雰囲気
のサロン。ジョリソール・



マネジャーの今中英喜さん

リザでは、気易さと品質の
高さと、現代女性にふさわ
しいトレンドイな感覚のニ
ットファッションブランド
マックススター、ジオスボ
ーツ、グローブを扱う。ラ
・マルケーザ・リザでは、
よりグレイドの高いお洒落
を求める大人の女性を対象
に海外ブランド、ビルダジ
ュール、ポーシャルを取り
扱っている。「常に売り場
が新鮮で楽しく目を魅くよ



芦屋の街に、10月9日オープン
するハイセンスなモンテメー

うなものにしたい」とマネ
ジャーの今中英喜さん。元
町の伝統とリザの洗練され
たファッションが融け合
い、神戸ファッションの新
しい核となりそうだ。
★装苑、風月堂、UCC、
ヒロタがモンテメー
10月9日、国鉄芦屋駅に
地下1階、地上6階のステ
ーションビル、「モンテメ
ール」がオープンする。大
丸芦屋店が中心となつて、
各種専門店が構成されるが
百貨会からも四店舗が出店
する。

2Fに、喫茶UCCカフ
エープラザ、3Fに装苑、
神戸風月堂、洋菓子のヒロ
タが顔を揃える。

装苑は、サウンドページ
ニ系統のシックな内装、芦
屋のハイセンスなお嬢さん
やヤングミセス好みの、芦
田淳、ミスパルマンのファ
ッションを揃えている。
瀟洒な気品の街、芦屋に
似合った、新しいショッピ
ングタウンとして、注目を
集めるだろう。

★末積製額、第三回額縁・
絵画総合見本市を開催

9月2、3日の両日、農
業会館11Fで、大丸前の末
積製額が第三回額縁・絵画
総合見本市を開催した。業
者向けの見本市とあつて、
北海道から九州まで全国の
専門店約百五十社が集まり
額縁、油絵、複製画、掛軸
などを受注できる大がかり
なもの。「最近では、インテ
リアに合わせて、自分の好
みの複製画を選ぶ人が多い



展示会場にて末積社長

ようですね」と末積社長。
回を重ねて一層充実した出
品と新しいデザインに、会
場はメモを片手にした業者
の人達で賑わっていた。

● ショップトビックス



★子供服のファミリアがコウベ・
ファッションショー'81で最新のデ
ザインを披
露。ファミ
リちゃんの
ぬいぐるみ
に手を引か
れた可愛い
モデルくん
たちに拍手

★男子洋品のフナキヤと、新古典
美術の福新は、元町三丁目新店舗
を建設中ですが、10月下旬か11月
月上旬にオープンする予定です。

★パンのカスカードでは、サンブ
ラザB1店を改装中ですが、10月
月上旬新装オープンします。製パン
工場と販売の他に、新しくお客様
にその場で味を楽しんでいただ
けた。ぜひお立ち寄りください。岡
本店に隣接して、従業員の研修の
場「パンの研究室」も9月にオー
プン。新しいパンの開発に取り組
んでいます。

★UCCレギエラコーヒー製品
に貼ってあるUCC100%PURE
シールを送ると、抽選で毎週10
00名様に「アダム&イブ」のカ
ップ&ソーサが当たります。ハガキ
に郵便番号、住所、氏名、年齢、
職業を記入の上、〒650-91神戸中
央郵便局私書箱1200号UCC
ビューティフルモニングプレゼ
ント係まで。12月27日まで実施中
★オリエンタルホテルと六甲オリ
エンタルホテルのスカイレストラ
ンでは、10月1日・11月9日まで
和風フランス料理のお食事会「秋
味一席」をご用意いたしております。
メニューは和風オードブル、
茶碗蒸し風スープ、伊勢海老のグ
リザまたは特選神戸肉ステーキ、
エリザベス風サラダ、丹波栗デザ
ート、メロン、コーヒール。お1人
様1万円(税・サ込、お土産付)

ボケット ジャーナル



てきた方々で、今後も更に活躍していただきたいものである。

★理想の音楽ホール”

理想のコンサートホール”としてその誕生が待たれていた宝塚市の「ベガホール」が、去る8月21日、ついにオープンした。

贈呈式は9月13日に相楽園会館で開かれ、宮崎市長の手から各受賞者に賞状などが渡された。いずれも、神戸の文化発展に貢献され

神澤知丘(書、飛雲会)

△神戸市文化奨励賞▽

西村雲華(筆道、田村 享(体育、

新谷英夫(彫刻、山沢栄子(写真、

柴田旭堂(邦楽、劇団神戸(演劇、

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

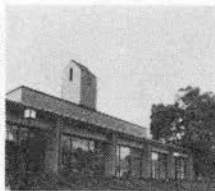
△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

△神戸市文化賞▽

右より 鶴居 西村、
新谷、山沢、柴田、劇団神
戸、西村、田村、神澤氏



欧風の瀟洒な外観を
見せるベガホール

音響学の権威、神戸大学の
前川純一教授が設計を指
導しただけであって、372席と
小規模ながらも、音楽ホール
の理想とされる「残響2
秒」の水準を満たしており、
関西初の本格的コンサート
ホールとして今後の運営に
大きな期待が寄せられる。
★椎名麟三文学碑が完成
晴れて除幕式が行われる
姫路出身の文学者、故椎

名麟三氏の文学的業績を顕彰する文学碑(石)の除幕式が、8月24日午前11時から姫路市書写山ロープウェイ山頂駅北で行われた。

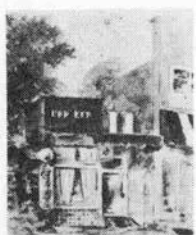


仏式での除幕式

式は円
教寺住職
らにより
仏式で進
められ、
椎名氏の
未亡人の
大坪寿美
さん、長

男の一裕さんらによつて除幕された。午後からは場所を円教寺会館に移して祝宴が開かれ、吉田姫路市長、碑の書「言葉のいのちは愛である」を揮毫した岡本太郎氏が挨拶、石を設計した小野田實氏、世話人代表の田原新氏が経過報告を行い、椎名氏ゆかりの人が故人の思い出を語った。
★ジャック・マルーン、神戸で個展

吉屋のジェイ・グラックさん宅に滞在中の米人画家ジャック・マルーンさんが9月1日から30日まで、北野坂にあるギャラリー神戸時代で水彩画展を開いた。



神戸、吉屋の街角、異人「BARBER IN ASIYA」

誕生日
ありがとう
運動



心あたたまるお便り

本運動へは、毎日、全国各地からあたたかい心のこもった手紙がたくさん寄せられます。本日も、その一一二を紹介いたします。

◇八月三日は、わたしのたん生日でした。おとうさんとおかあさんで、おいおいをしてもいいよ。かわいそうなののおはなしもしてくれました。

わたしのおこづかいを、すこしですけれどもおくりします。わたしもがんばってべんきょうをします。みんなもがんばってください。

おつないをしたので、ごほうびにももらった中から三百円おくりします。さようなら。

(神奈川県横浜市 鈴木さわ子)

◇こんにちは。わたしは三年の常岡玲子です。この前教会学校のキヤンプで、コニー雲仙愛隣牧場という所に行きました。そこにはちえおくれの人や、しょうがいをもった人たちがすんでいました。わたしたちは、その中にはいってはいけなかったり、ごはんを食べたりしました。その人たちは、けんこくの人たちよりねっしんにはたらくのでびっくりしました。

わたしは、お誕生日には、プレゼントをもったり、ごちそうを食べたりして、おかあさんからお誕生日おめでとうの話をきいた時、けん金をおくらうと思いましたが、みなさん、よろしくおねがいします。さようなら。

(長崎県島原市 常岡玲子)

誕生日おめでとう運動本部
神戸市書写山御幸通八一一一六
61 神戸国際会館一階の郵便局の隣
電話二五一八六一内線三一六

館、カナディアン歌舞伎の舞台風景など親しみのある柔らかなタッチで描かれており、マルーンさんの眼を通して見たそれらはとてもユニーク。新鮮な感じで好評だった。「近いうちに帰国のおと再び来日して異人館を本格的に描きたい」と新たな意欲に燃えている。

★第1回関西映像フェスティバル



映に挑戦

関西の26
大学28サ
クルで結成
されてい

「学生映画

製作連盟「Cineco」/シネックVの主催で12月に「第1回関西映像フェスティバル」が大阪と神戸で開催される。従来の単なる8ミリ上映会とは違って、ビデオや16ミリなど映像にかかわるあらゆるジャンルから作品の参加を募っているのが特徴。また、関西地区の映像関係サークル（アマチュアグループ、大学・高校・中学の映研や放送研等）の連盟加盟も呼びかけている

●第1回関西映像フェスティバル応募規定

8ミリ部門 製作年度、ジャンル不問、作品の長さ1200ft以内
ビデオ部門 製作年度、ジャンル不問、時間60分以内、規格は16インチ（VHS、B共に可）
応募締切 10月15日
応募及び問い合わせは〒558神戸市東灘区住吉宮町7-13 27-1207
田中太平方「映像フェスティバル」連盟加盟」係

★第4回ロースガーデン美術公募展の要綱

異人館通りのファッションビルロースガーデンが主宰する美術公募展が、今年も開かれる。昨年も多数の応募が寄せられ、年毎に応募作品のレベルが上がり、今年も期待されている。



昨年の入選作品

去年に
続いて今
年もテー
マはなく
「広範囲
な視野から
応募」を主
者たちは呼
びかけてい
る。

会期/11月3日~19日
入場/10月26日 11時~19時
審査・発表/10月30日
審査員/赤根和生、伊藤誠氏他
出品料/1点1000円
ジャンルは問わぬが平面は30号
まで、立体は体積1㎡以下重さ100kg
以下。いずれも展示できる状態で搬
入のこと。

お問い合わせ/電話222-11518
ギャラリー・ドラベ

★赤とんぼ絵本賞

第2回の作品を募集中



第1回入選作

昨年、
国際児童
年を記念
して制定
された
「赤とん
ぼ絵本
賞」の第2
回の作品
公募中
第1回の
入選者
は前川直
三「しば
えもんだ
ぬき」片
桐三紀子
「ほかほ
かショール」
の2名で、
作品は既
に単行本
として発
売されて
いる。
民話・伝
説やふる
さとを

素材にした創作絵本（第1部）、自由なテーマの創作絵本（第2部）を求め、審査員は詩人の安水稔和さんら。原稿締切は11月末、1月上旬に発表の予定、主催は神戸新聞出版センター
問い合わせ先/392-4001

素材にした創作絵本（第1部）、自由なテーマの創作絵本（第2部）を求め、審査員は詩人の安水稔和さんら。原稿締切は11月末、1月上旬に発表の予定、主催は神戸新聞出版センター
問い合わせ先/392-4001

★児童文学講座、開かれる



第1回の講座風景

結成された日
本児童文芸家
協会の若屋支
部（村上のぶ
子支部長）で
は、8月11日
に若屋文化セ
ンターで第一
回の児童文学
講座を開催し
た。若屋支部
の茨木昭さん、協会の岡
信子、矢崎節夫、漆原智良
さんがそれぞれ自らの児童
文学との出会いや創作上の
苦心などを講演。会員や地
域の人が話に聴きいって

若屋支部では会員を中心に創作活動、民話の収集などを活発にすすめており、近日中に機関誌「あしづえ」の第3号を発行する予定。
電話0797・23・2607

★ポートピア'81を記念して
2階建バスのミニチュア
神戸市交通局
では、ポート
ピアのPRと2
階建バスの普及
宣伝などを目的
に8月11日



2階建バスのミニカー

に8月11日

美術ガイド



★県立近代美術館 彫刻家の素描と版画 第9回西宮市芸術祭美術展	10/9	10/10	10/11	10/9
★西宮大谷記念美術館 第9回西宮市芸術祭美術展	10/9	10/10	10/11	10/9
★白いアトリエ 篠田孝一「アトリエ」展	10/9	10/10	10/11	10/9
坂上麦生・小菅真知子「シルク」展	10/9	10/10	10/11	10/9
上住雅恵「写真展」	10/9	10/10	10/11	10/9
★CITY GALLERY 横尾忠則「ボスター」展	10/9	10/10	10/11	10/9
菅井渡版「版画展」	10/9	10/10	10/11	10/9
飯田三三「版画展」	10/9	10/10	10/11	10/9
★青屋ギャラリー「りべる」展	10/9	10/10	10/11	10/9
マリオン・アバティ「銅版展」	10/9	10/10	10/11	10/9
★エンバ中国近代美術館 第2回エンバ賞展	10/9	10/10	10/11	10/9
★ギャラリース「あしづえ」展	10/9	10/10	10/11	10/9
神戸・天津大学建築設計展	10/9	10/10	10/11	10/9
木々の会「会集展」	10/9	10/10	10/11	10/9
★さんちか広場 「第1回神戸市芸術祭美術展」	10/9	10/10	10/11	10/9
1980新作世界協会展	10/9	10/10	10/11	10/9
九州観光展	10/9	10/10	10/11	10/9
★大丸神戸店美術展 陶芸巨匠「紅土」展	10/9	10/10	10/11	10/9
第12回「紅土」展	10/9	10/10	10/11	10/9
戸田三三「版画展」	10/9	10/10	10/11	10/9
ゲルト・クレンパー「新作」展	10/9	10/10	10/11	10/9
★三越神戸店美術展 鈴木煥南「写真展」	10/9	10/10	10/11	10/9
現代を担う若手日本画展	10/9	10/10	10/11	10/9
現代日仏版画展	10/9	10/10	10/11	10/9
エトワール小品展	10/9	10/10	10/11	10/9

り、2階建バスのミニチュアカーを売り出した。製作は玩具メーカーのトミータで神戸市役所、交通センタービルとサンこうべの観光案内所、地下鉄売店などに置かれていた。一万個の限定販売だが、2階建バスの乗客が記念に買っていくなど飛びよる人気で、年内には売り切れる見込み。

1000円（飾り台1000円）

★「続々・世界の名指揮者」
朝比奈隆氏も登場



世界の名指揮者」が発行された。音楽誌「レコード芸術」が「続々・小石忠男さん論家の小石忠男さんの著」を音楽評論

花時計



自然の法則を知る

今年はあのセキタてる
ような蟬の鳴き声の憶え
が薄いと思っていた。
独特の岩にしみ透るよ
うな鳴き声も聞かなか
つた。つくつくぼうし
の声もなく雨が続いて
いる。
冷夏ということだから
仕方がないといえどそ

術」に連載したものに手を加えてまとめたもので、このシリーズ三巻目。すでに発行されている二巻で34人の指揮者が紹介され、今回は朝比奈隆氏を含めて20人の名指揮者が登場している。「比較的若い指揮者や、中堅を主体にし、現代の多様化した演奏スタイルと音楽芸術の潮流の方向を具体的に解明することに力を注いだ」と小石さんは述べている。一四〇〇円。音楽之友社刊。

★21世紀の未来都市を主婦
の眼で中間総括!!

79年春に芦屋の海に誕生した未来都市、シーサイドタウン。「誰も書かなかつた韓国」などで知られるド



佐藤早苗さん 住みつき 約一年の 生活体験

未来都市の現実にも入
れ「海に建った未来都市
『芦屋浜の超高層』」（毎日新
聞社、980円）をまとめた。狭
い国土の日本では超高層住
宅の必要性を否定できない
が、住宅とはあくまでも人
間が生活するところという
視点で、芦屋浜で起こった
様々な失敗を今後に生かす
ように説いている。女の眼
の確かさを感じさせる一冊
である。

れの仕事ではいろいろそんな話が出てくるだろう。

最近の農作物について話が出た時、驚くことばかりだった。農作業の手順が30年前とまったく違うのだ。しかも作物に対する考えも違う。耕作機械が考え方を変えてしまったのだと思う。これもやむを得ないことだし、でも、忘れてはならないのは自然のもつ大原則だ。もう一度、人間と自然の流れを確認しておくべきではないか。△Y△

KOBÉ POST

★長神社（津田信基宮司）では五十年目の修造再建（金井元彦御再建五十年御修造奉賛会会長）となり、十月十二日午後七時より本殿座祭、十月十三日午前十時より高松宮同妃両殿下をお迎えして本殿座祭奉幣祭が斎行されます。

★画家の津高和一さんの恒例の自
邸作品展が、今年も十月二十五日
から十一月三日まで開かれます。
オーブニングパーティは午後二時
より。

★女流詩人の丸本明子さんが、三冊目の詩集「自画像」を日東館出版より上梓されました。約十年間の強烈な自己凝視の詩作集。現住所千坂宝塚市野上四丁目十二ノ三 電話〇七九七(七)二六〇六九 定価一、二〇〇円

★劇団神戸（主宰夏目俊二）が十周年と神戸文化賞受賞記念のパーティを九月二十九日風月堂で六時半より開きます。おめでとう！

★彫刻家廣嶋照道さんが転居されました。〒651-13 神戸市北区有野

愛〇七八(九八二)七〇一六
 ★ハモンドの小田格(イタル)さ
 んが転居。〒657神戸市灘区篠原本
 町五丁目四ノ一一 愛〇七八(八〇
 一)七八八八

★カメラマンの藤原保之さん、コ
ピーライターの明子夫人が、犬の
チュチュと共にポートアイランド
へ引越されました。〒650神戸市生
田区港島中町三ノ二一・六〇一

三六ジン・スタジオ 平谷養合区磯
辺通四丁目二二〇番〇七八(二
五二)一〇〇代
★グラフィックデザインナーのよこ
やま絃二さんがデザインスタジオ

ナナビーとして独立。〒650神戸市
生田区加納町四丁目一號(〇七八)
三三一―二四一八



カット/橋 昭三

★白壁と絵とバロックと

中山手カソリック教会の山側に白い部屋の「Coffee 展覧会の絵」（生田区山本通2-13岩井ビル1F 室22-5782）がある。

白い扉を開ければ、バロック音楽が流れ出し、みどりの樹々と絵がやさしく迎えてくれる。

嬉しいのは、女主人の矢尾田豊子さんがお客のファッションに合わせた洒落たカップに注いでくれる珈琲の一杯。矢尾田さんのやさしい笑顔の応待がアダルトな神戸っ子に好評だ。

AM10〜PM9 / 珈琲500円

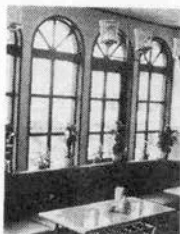


明るくシックな店内

★旅立ち前のレストラン

元町駅の「テルミーニ」

国鉄元町駅東口の2Fにカフェ・レストラン「テルミーニ」がオープンした。



アーチ型の窓が可愛い

卵料理つきのモーニングサービスや、本格レストランの味のランチがあって、駅利用者たちの待ち時間にと好評だ。

卵色の階段を上がっていくとヨーロッパの駅のカフェ風レストラン。名前はイタリア語で「終着駅」の意味。終着駅は始発駅という経営者淡路屋の発想だ。秋の旅行シーズン、テルミーニから出発進行!

テルミーニ 室332-1682 コーヒー250円 モーニングサービス300円 日替りランチ500円 営業時間/AM7〜PM8 無休

★北野に若者の店

「ザック」がオープン

相変らず観光客でにぎわう北野町界隈だが、このほど異人館倶楽部の前にコーヒー&パブ「ザック」がオープン。早くも若者の人氣を集めている。

海ガメ料理をつまみながら飲んで騒いで楽しくやろうという感じで、オープンな雰囲気。二階はダーツやゲームを楽しんだり、文化教室、パーティーにも利用できる上、土・日曜は上総護子さんの古いコーナーを設けるなど、集まってくる若者の手によって、どんな店づくりがなされていくという感覚があり、北野を愛する人のコミュニティ・スポットがもうひとつ誕生したといえる。



オープン感覚のザック店内

ベーコンとチーズのミルクパイ/700円、海ガメときのこのスープ600円、スペイン風おにぎり500円、生ビール330円、水割340円。生田区山本通2-31-2、室22-2191、AM11〜PM11。無休。

●神戸うまいもん とドリンキング

京風らーめん

京都あかさたな

元町通2丁目山側

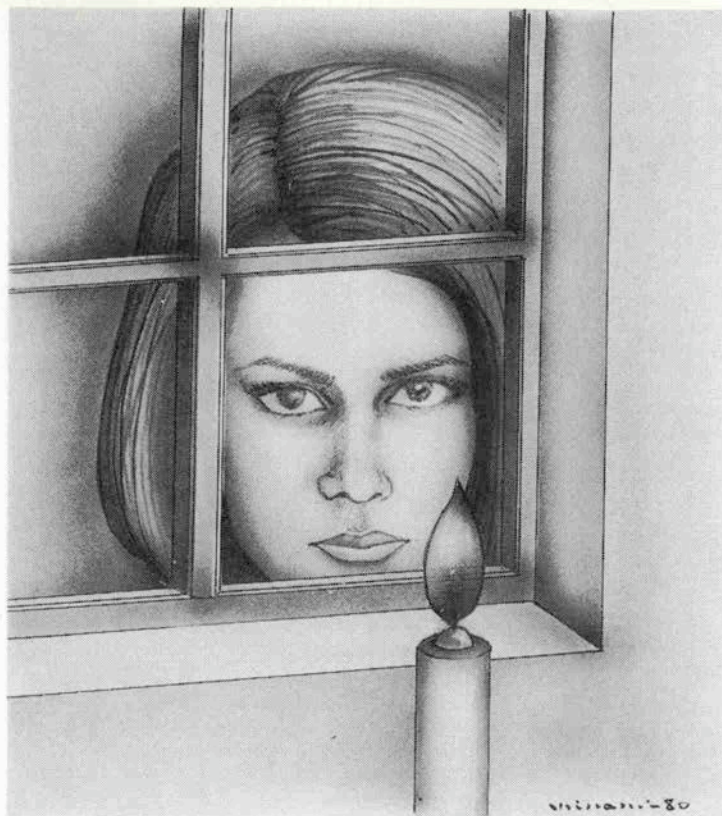
室331-7404

7月17日にオープンしたばかりだが、最近評判の京都あかさたなが神戸に初登場とあって、人氣は「赤丸つき」で急上昇。



あったかいムードの店内

最高でも480円という値段の安さと、オーダーから茹で上がるまで一分ちよい、という短い待ち時間、それに、京風民芸調の店内と壁に飾られた京都風景の木版画が醸し出すあったかいムードなど、まずは良いことだらけ。東健治店長のお奨めは、やくみらーめん(260円)。京風餃子のちよぼ焼(260円)はにんにく抜きで臭くない上、美味。毎月第3水曜は「らーめんの日」でやくみらーめんがなんと100円で、ぜんざい等の甘味もある



暗葉樹

刀禰喜美子 とね きみこ

絵／南和好

連載小説〈第IV回〉

和子の促すまま伸子は廊下を渡って行った。院長夫人と知って、擦れ違う人達は丁寧に頭を下げていく。開放病棟ではそれと聞かなければ常人と変わらない患者が、パレーボールやバドミントンに興じていた。

作業病棟は複雑作業場と単純作業場とに分かれていた。木谷は単純作業場にいるという。社会復帰が可能でないということだろう。伸子はガラス越しに部屋を覗いた。

これが、一糸乱れぬ機敏なる行動、の好きだった木谷か、と見紛う姿で木谷がいた。

動作は緩慢で着衣は乱れている。ボタンは掛け違っていたし、ズボンは今にもずり落ちそうに床のゴミを掃いていた。作業している手は震え、時々仕事を放棄して室内を動き廻っている。大きなテーブルを囲んで二人ずつ組になり、真中に積まれたバジャマを上下組み合わせて畳み、MはM、LはLとビニールの袋に詰めるだけの仕事であるが、木谷は手が震えているため袋に詰める作業もできずに、畳む方にまわっている。絶えず何かを呟いていた。同室の者は慣れているのか、それとも患者特有の自分のことにしか関心がないせいなのか、一向にうるさがない風もない。独り言をいつているのは他にもいた。

上背があり幅もよく、肩章にふさわしいだけの矜持を示していたかつての木谷を、今の姿からは発見できない。背を丸め、白い髪をふり乱し、どこをみつめているか焦点のさだまらない力失せた眼光で、ひょこひょころつき廻っている木谷を見て、伸子は十五年余り生きつづけた自分の存在が急に漂白されて、色も型も匂いもなくなつたかのような虚しさに捕われた。

看護士に連れられて、木谷は伸子と和子の前に来たが、無論、何の感情の変化も認められなかった。うつろな表情でぶつぶつ喋るだけであった。

「ワシは追放に合つてな。果鴨にはいつておつた。有名な大将や将校がいっぱいおつた。ジャガイモの蒸したのがたつた二つ。五つはある筈なんだが、看守がパクルのよ。パクルということはいつの時代にもあるんじや。腹

が減つて逃亡した。アル中でもこの病院はええ。腹一杯たべさせてもらえるからな。ワシは戦争中は威張つたもんだ。少しもひもじい思いはせずじや。缶詰でも砂糖でも酒でも何でも揃つとつた。女どもはそれが欲しさにワシのいうことをきいたものだ」

果鴨にはいつていたとは妄想であろう。女どもはそれが欲しさに――の言葉は伸子を傷つけた。

「果鴨を出たら世の中、逆さまになつた。誰もワシのとこへはよりつかん。女房は男とどっかへ逃げよつた。女が強うなつた。ワシは女とヤルとき、いためつけてからヤルのが好みやつた。殴る、蹴る、叩く、女の悲鳴を聞くと、チンポコがビューンとなつた。軍隊はな、星一つでえらい待遇のちがうとこや。上官には一切いいわけはできん。自分の意見はいえん。服従あるのみ。そのモヤモヤをワシは下の階級の者に向けていった。男でも女でもいじめるのがワシの趣味だ。弱者は犠牲だ。女を弱者と思つとつた。男の命令に従うもんじやと決めていた。苦痛を与えても平気だつた。それなのにいつの間にか、女の方が強うなつてしまつた。ワシは女にいじめられて、このサマじや」

木谷は入院当初は断酒会にも加入して積極的に直そうという意欲もあったが、入退院を繰り返すごとに、暴力、虚言、盗み、喧嘩、幻聴、幻覚などの中毒症状が強くなつていく、と看護士が説明した。

伸子の顔を見れば、木谷が何かを思い出したくないかの期待は見事にはずれて、木谷の脳裏には伸子の欠片すら残っていないようだ。壁や窓や窓から見える中庭の風景と同じ程度にしか伸子や和子が映っていないようだ。ひとことでも嘲笑や皮肉の毒矢を報いたいと願つてきた伸子は、完全に無視されていた。どす黒い屈辱が身うちに走った。木谷のえらの張つた首筋をみつめていると、急に鮮やかにあの時の記憶が甦つてきた。百知ろろそくの熱くて太い蠟を回んだ部分に流し込まれたような、ひりひりとした痛みが甦つてきた。もう忘れ果てた

と思つていた感触を、粘膜は覚えていた。このひりついた感覚は時々夢に現われた。夢の中では伸子は木谷の突起より巨大なうそくで木谷のそれを根元から焼き切つて捨てていた。伸子は木谷に飛びかかつて首を絞めたい衝動に駆られた。看護士や和子の眼がなかったなら、多分行爲に移してただろう。

木谷をいじめたい欲求で、手が動きだした。思わず、木谷のしなびた腕をつねっていた。木谷の弾力を失った皮膚は、いつまでもつねったままの小さな山型を崩さずもとに戻らない。木谷は誰が何のためにそうしたのか分からず、にやにや笑っていた。

「今日はハムシ奴、よく襲つてきよる。もう三十四も殺してやった」

と、伸子のつねった部分の下を引き続いて次々と自分でつねりだした。

変わり果てた支配者に、伸子は何を訴え、何の怨みを述べ、どんな報復を与えることができるだろうか。何がどうなつて木谷をここまで追いつめていったのか知るすべもないが、強者は弱者となつて、伸子の眼の前で無残にもこわれた姿を見せていた。伸子は怨みが消えたわけではなかったが、人間は一樣に弱いことを見せつけられ、出口を失つた渾身のあちこちに沈澱していくようであつた。柴野も木谷も共に砕け、分解し、飛散してしまつた。

式は順調に進み、学生代表の挨拶が終つて花束贈呈がはじまろうとしていた。花束を贈る一年代表は女子で、受取る側の二年代表は男子であつた。

「ぼく、花束贈呈の代表に選ばれました。先生、見て下さい」

瀬川が半ば照れながら嬉しそうにいったのは一週間程前であつた。伸子の部屋であつた。二人は裸でベッドにいた。よい成績を取りたい、代表に選ばれたい、そういう優等生としての一面と、伸子が毒を注ぎ込むといくら

でも吸収していく反面とを、瀬川は持ち合わせていた。会場にはいった時から瀬川の坐っている席をそれとなく探し、瀬川はそれを待っていたように懐しむような視線を返してきた。

昨年の四月、これまで学院で国語を担当していた和子、姑の身体の工合が悪いから、伸子に代つてくれないかと依頼してきた。教壇に立つたことなど一度もないから駄目だと断つたが、あなたは何でも熱心に打ち込んでやるタイプだし読書家だし絶対できる、と学校の方に連絡を取つてしまった。

若い世代の和服離れと不況で、呉服の商売も規模を縮小していた状態だし、父の存命中は伸子の座は安泰だろうが、弟夫婦の勢力が強くなつていくことは確かな将来に、伸子は不安と脅えを持っていた。父に屈服され庇われている伸子を、弟の嫁は嫉視し、子供達の学資がこれからうんといふなどいって、金銭的に伸子を牽制した。伸子は邪魔者扱いされるのも心外だし、自分にもこんな仕事ができるんですよということも弟夫婦に示したかったので、講師を引き受けてしまった。

最初の四、五回はあがりっぱなしであつたが、年齢からくる押し出しと体当りの意気込みでどうにか切り抜けた。教えることは学ぶことなりといわれる通り、学生と共に学んでいこうと決めると、気が楽になった。学生といつても殆んどが二十代後半から四十代までの成人で、却つてやりやすい。各病院から五、六人のグループ通学なので、学校での失策はすぐ病院内に伝わっていく。準夜や深夜勤務あけの者はよく眠る。伸子は教壇から話しかけずに通路を巡回しておきて指名した。いつあえられるかわからないという緊張感を与えた。病院ではえらそうにいっぱしの仕事をしている者が、授業中指名されて答えられないことは仲間に対して恥であるらしく、効果があつた。

瀬川は当てれば正確に答えるが、自分からは進んで手をあげない目立たない学生で、テストをしてはじめて成

績の良いことが発見されるタイプであった。三十五、六歳であろうか。男にしては顔のこじんまりした、切れ長の目に才気の感じられる以外はこれといって特徴はない。

そんな消極的な瀬川が、作文に大胆な内容を書いたので伸子は愕いた。

——その先生を見た時、ぼくは初恋の女性にあまりにもよく似ていたので、あつ、と叫びにならない声を、ぼくは口の中でもごもごといった。

の書き出しではじまる発想は常識的であったが、手紙でなく作文に書くということは意表をついていた。もし伸子が怪しからんと教務主任に公表すれば、瀬川は叱責を受け勤務先を辞めさされるかもしれない、伸子が多分誰にも見せないと決めて書いたのなら横着で甘えがあると

いうことだ。

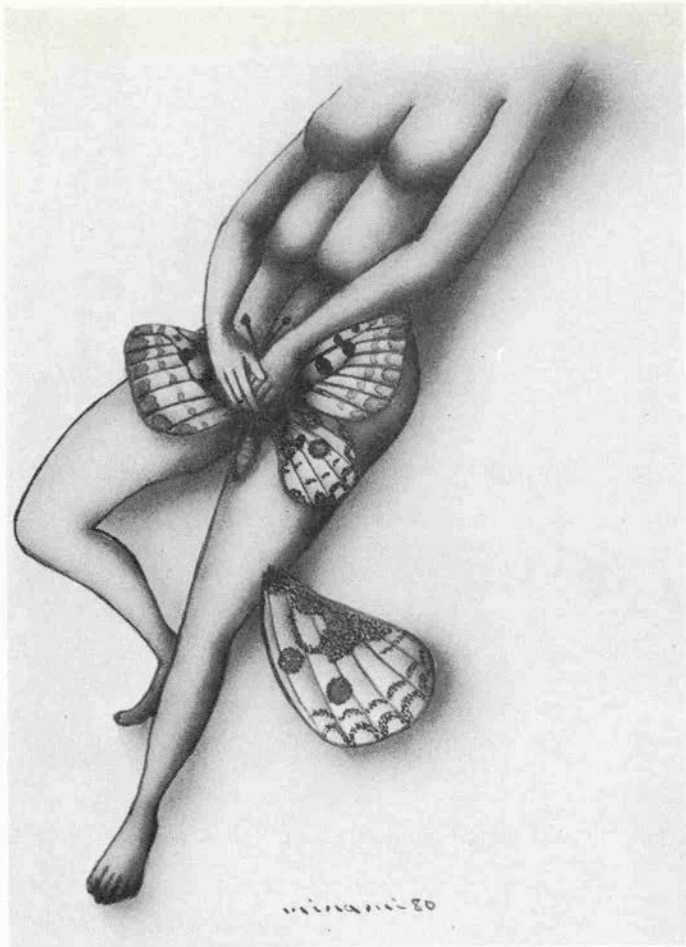
——深夜勤務あけで、先生の声はいつしか子守唄となった。ぼくは忍者部隊の隊長で、その日仲間入りしたくのいちにすっかりのぼせあがった。くのいちは何か目的があるのか媚態でぼくを誘った。隊長の地位も惜しいが、くのいちの魅力にぼくは勝てなかった。仲間同志の恋はご法度だ。ぼくはどうとうくのいちの誘惑に負けて、忍者部隊を捨て二人で逃亡した。逃亡生活は思いのほか辛い。転々と仕事を変えた。……

ただの虚構と無視すればよいと伸子は思いながら、紙背に潜む瀬川の意図なり目的なり本心が知りたい好奇心もあって、教員室に呼び出した。室に誰もいないのをみさだめて、瀬川がはいってきた。扉を細目にそつと開け、うなだれて伸子のそばへくると、いきなり、すみません、と謝った。

「謝るところをみると、悪いと認めているのね」

「書いたことは全部本心で悪いとは思っていませんが、作文として書いたのはいきすぎたと反省しました。先生が、作文では自分を飾らずに本音を書くことといわれましたので、正直にそのまま受取ったのです」

「本音といたって、私とあなたは先生と生徒です。」



節度つてものがあるでしょ。私をモデルにして、しかも私からしかけて色々誘惑をするように書いてあるじゃないの。気に入らないわ」

「そのことは夢の中のできごとで、本当にそんな夢を見たんです。ぼくは気が弱く、女の人には自分から働きかけられないので、そんな夢をみたのでしょう。誘って貰ったらどこまでもついていくのになあ、っていつも考えるものですから、ああ書いたのです」

「夢の中だけじゃないわよ。先生は夢の中のくのいちのように、ぼくの肩に手を廻してひきよせ……なんて箇所もありますよ。もっと読みましょうか」

「先生、かんにんして下さい」

瀬川は赤くなつてうつつむいた。伸子はもつと搦んでいじめたかった。サディステックな性格の人は教師にむいているとどこかで読んだ言葉が頭を掠めた。捕獲網に入つた昆虫にも似て、偶然むこうから網にひっかかった伸子の目的に最もマッチした男であつた。

次に瀬川と個人的に会つたのは伸子の住居の近くの喫茶店であつた。いつ住所と電話を調べたのか、瀬川が電話してきた。

「学校の帰りなのですが、先生のおすまいの近くにきているのです。会つて下さいませんか」

「用件は何ですか」

「よく考えましたら、先生をモデルにして作文を書くなんて、大変失礼だったと反省したのです。そのお詫びがしたくて」

「電話でそれだけきけば、もう会う必要はありません」

「いえ、言葉だけでなくお詫びのしるしに夕食でもと思ひまして」

「そんな気遣いはよろしい」

「でもぜひ、お会いして。いいえ、会いたいのです。来て下さい。兎に角会いたい」

電話の声は懇願になつてきた。伸子にはたりとした。

もう網から外に翔び出せない。羽をむしろと足をひき

ちぎろうと、伸子の意のままである。木谷の代償者をやつと手に入れた、と内心凱歌をあげた。

喫茶店で瀬川は朴訥に話し出した。

「あれから随分考えました。先生に対する憧憬を、作文という場を借りて伝えるのが何で悪いのか、という聞き直りもあります、やはり節度を越えた行為でした。百人からいる生徒の中で、ぼくはいつも目立たない存在で満足していました。でも先生に対してだけは、何かで先生の関心をこちらに向けたいと思ひました。ぼくは高校しかでいてませんが詩だの小説が好きでしたから、少しは得意の分野で気を引こうとしたのです」

話を煙草で繋ぎながら瀬川は語つた。伸子は沈黙してきいていたが、突然いつた。

「あなた、私とタイムトンネルにはいらぬ。過去とか未来とか二人の背景とか周辺とかすべて消滅させ、あるのはたつた今のこの時だけがあるの。そして男と女がいる」

「そんな——」

「だって、あなた、作文でそう書いていたじゃないの。夢は過去も何もないふんわりした空間であつた。私がくのいちであなたはそれに誘惑される男なの。作文を地でいくのよ」

「あれは妄想で、とても現実では——」

「こわいの。じゃ、今日は何しに來たの。とにかく、私の部屋に來なさい」

伸子は命令した。ついて来るのか來ないのか。木谷が「来い」と命令してろうそくの焰を揺らしながら伸子を防空壕に連れて行つた時と同じようにして、暗い焰の烙印を瀬川に刻み付けてやらねば。

瀬川はショールダの紐を短くたぐつて手に提げながら伸子のあとに付いてきた。

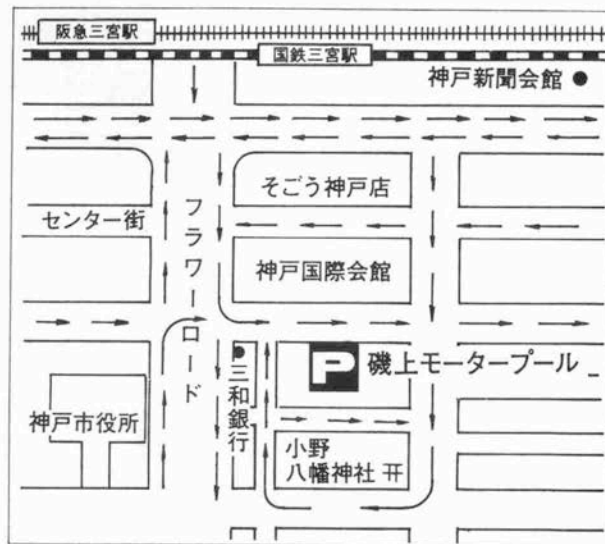
(つづく)



ビジネスに、ショッピングに

三宮で一番便利な

自走式立体モータープールです



- 収容台数 300台
- 月極駐車可
- 年中無休
(8:00AM~11:00PM)



磯上モータープール (神戸国際会館前) TEL (078) 251-7873